



TOKYO AUTO SALON 94



RSヤマトBOMEX SILVIA S14
ノーマル排気量のままで、270psを達成。メイン80φマフラーはオリジナルの試作品。内装は、GULLYバケットシート、雨宮製Dシェイプステアリング。サスキットも開発中だ。●RSヤマト



コンペティチオーネ スーブラ
フロントマスクも迫力ものだが、リアのオーバーフェンダー(+15cm/)が強烈。さらに燃料タンクを交換した結果、マフラー位置も変更。エアロキットは近日発売予定。●トップシークレット ☎043-268-3445



マインズGT-R
エンジン系はポッシュの燃料ポンプ、ニスモ改タービンとマフラーの交換のみ。それとコンピュータで500ps以上を発揮する、現代型チューンの見本のようなマシン。●マインズ・ウェイブ ☎0468-57-3313



BATTLE-R Z32
公道のワク内でドコまで出来るかが、開発コンセプト。性能的には0-300km/hで20秒前半が目標。必要なパーツはアメリカで特注をかけている。ブレーキはブレンドだ。●プロジェクトM ☎0471-43-7611



BOMEXユーノスロードスター
オリジナルのFスポイラー、Rスポイラー、サイドステップ、Rアンダースポイラーのフルエアロキットを装着。ワイド&ローで迫力を発散している。ちょっとワルな魅力。●アリゲーター ☎03-5693-5661



TRD Corolla 2000
今号で紹介している3S-GEを搭載するCorollaセダン。エンジンに合わせた足まわりも出来上がり、あとは発売を待つばかりだ。これからはスーパーセダンの時代だ。●トヨタテクノクラフト ☎045-543-5633

P'S
CHECK

気になるマシンをセレクト6
シヨップなりのチューニングの方向性を見て
自分のフリーリングに合うものを探そう

SECTION 3 ▶ チューニング

パワーよりも気持ち良さの追求に力を入れよう

チューニング部門は、メーカーというより、シヨップ単位のチカラ比べかな。自分のクルマを実際にチューンしてくれるのはシヨップなんだから、どんな素晴らしいクルマが展示してあったとしても、実は身近なカテゴリーといえる。

例えば、800psのGT-Rを造れるシヨップだったら400psのGT-Rは余裕で造るはずだし、さらに、おなじ400psでも、出力特性をピーキーなものからフラットなものまで、オーナーの好みに仕上げる事ができるはずだ。

実際、ちょっと前までは、最高出力という「数字」だけの競争だったのが、最近はかなり変わってきた。いかに「気持ち



ガレージ福井SPL ワークスーブラ'94

外観上のポイントは、ホワイト&ブルーのボディカラーだ。さらに、今春発売予定のBBS「スーパーRS(18インチ)」が、早くも装着されている。チューニング内容は、ズバリ、最高速狙いだ。現在ではまだ満足いく結果は残せていない。最終的な目標は340-350km/hに置いているという。●ガレージ福井SPL ☎0776-67-2930



620ccのノズルはオリジナル。エンジン内部はノーマルだが620psを発揮。

ちよい」エンジンか?って事が大切にされ始めているんだ。クルマをどこに頼むのか?ってのは、パワーはもちろん、どれだけ変幻自在に出力特性をコントロールできるかが、これからの選択基準だ。

しかし、いくら腕のいいチューナーだからといっても、得意、不得意のエンジンがあるのも事実。現在、主流になっているエンジンは、スカイラインのRB系、シルビアのSR系、そして新型スーブラの2JZ-GTEといったところ。さらにターボかNAかってのもポイントになる。エンジンで遊ぶつもりなら、まずは、

こういったエンジンを搭載しているクルマを選ぶことが大前提になるけどネ。



有馬四郎(トライアル)
スーブラ、マークIIをベースに、総合的なパーツ開発を進めます。さらに、人気中古車に絞ったチューニング、ライトウエイト用センターロックホイールの販売強化も、大々的にやります。



新倉通彦(マインズ)
コンピュータに関しては、国産車全車種をほとんどカバーできるほどの充実したラインアップが完成しました。今年は、オリジナルの足回りキット「エスタ」をさらに熟成させたいですね。



谷畑茂生(JUNオートメカニック)
94年は、国内では0-300km/hの記録を狙いたいと思っています。もちろんポンペルやエルミラージュといったアメリカでのスピードトライアル競技にも、スカイラインGT-Rで挑戦します。



小林 優(HKS・エンジン開発担当)
今年は初心に返ってターボのラインアップを見直し、さらにクルマをトータルで開発することを前面に出していきます。ターボの強化と、サスキットなどにもオリジナルを投入していきます。



横山耕治(ガレージ福井SPL)
スーブラをタイヤ&ホイールから足回り、エンジンから内装やエアロまで、すべての面でカッコ良く仕上げたい。それから最高速で340-350km/h程度の記録を出すことが今年の目標ですね。